

1. 開催年月日 令和5年3月23日
2. 開催場所 三原駅前キオラスクエア内 サテラス
3. 委員出席
委員総数 6名
出席委員数 5名
- 放送事業者出席者
2名

4. 議題

- ・局からの現状報告
- ・番組審議について

5 議事の概要

6 審議内容

(1) 開会宣言

放送事業者からの開会宣言

(2) 局からの現状報告

事務局より以下の通り報告があった。

番組改編について

事務局「この5月で6年目に突入する。そのようなタイミングでの番組改編。しかし、今期の改編では大きな変更をしていない。朝の生放送、夕方の生放送を中心に安定した放送ができることを優先するために大きな変更はしなかった。19時台に自主制作番組が増えてきている。今後もこの自主制作番組を増やしていくように局も積極的に関わっていく。今回の番組改編で変わっている部分は朝の6時台と昼の12時台、夜の8時台の『三原イングリッシュ』という番組が終了すること。英語番組の原稿を作り続けることが難しい。再開していくためにはコンテを作り続けるためのノウハウが必要。今後、その枠で「安全安心一口メモ」という番組を放送する。この番組はこれまで夕方のイブニングスペシャルのワンコーナーとして毎日約5分間放送していたコーナー企画。今後もこれまでと同様に「安全安心」に関する情報を発信していく。また、『教えて三原』という番組も内容を一部変更する。週ごとに内容を変更しているが第1週目を三原市のシティプロモーションが担当する。三原市シティプロモーション公式サイト「アナタ動く！ミハラ動く！」のラジオ版のような形で番組をすすめていく予定。

この他に4月から新しい番組が始まる。広島県中小企業家同友会三原支部の「中小企業の知恵袋！小さな会社の大きな力」という番組。毎月第一月曜日の午後3時から4時まで1時間生放送。中小企業家同友会の会員企業、団体が毎回2社ゲストで出演予定。進行も中小企業家同友会 会員企業の株式会社トラストの大出社長が行う。

体調を崩し長期休んでいるパーソナリティがいる。また、選挙で、うぐいす嬢をしているパーソナリティもいる。選挙期間中、ウグイス嬢を担当

している場合、パーソナリティはラジオ出演できない。このような状況のため、パーソナリティが不足している。そのため、パーソナリティの募集を行っている。2名ほど採用する予定。」

第一号議案「番組審議について」

番組名：渡辺朋子のおしゃべりなピアノ

放送日：第一日曜日18時から18時30分まで

事務局「今月の審議議案番組は、第一日曜夕方6時から放送している『渡辺朋子のおしゃべりなピアノ』。渡辺ミュージックラボの渡辺社長が一度会って話をしてみたい、という人をゲストに迎えるトーク音楽番組。少し懐かしいあの人や、同業ではなく様々な業種の人をゲストに迎えている。これまでにない出会いのきっかけとなるように人選している。番組の中ではゲストの方に渡辺社長が生演奏した音楽をプレゼントしている。ゲストは基本的には面識がない方、知らない方を選んでいく。話していきながら、新しい発見があるように番組を進めている。今回は世羅ゆり園の大島さんを迎えた。」

A 氏「アシスタントとメインパーソナリティの声が似ている。どちらが話しているのかわからない。男性と女性であればすぐに声を聴けばわかるが、女性同士だと難しい。メインパーソナリティが前に出て、アシスタントは少し引き気味の方が、聴いていてわかりやすいように思う。」

事務局「確かに、同じように聴こえる印象がある。どちらが前に出るか、後ろに回るかももう少し役割をはっきりさせた方が良いかもしれない。アシスタント担当者も単独で番組をやっており、前に出るタイプ。今後改善していく。」

B 氏「プレゼントの音源はどこで収録しているのか。スタジオで生演奏をしているわけではないと思うが。。。」

事務局「このプレゼントのピアノの音源は事前に録音している。持ち込みの音源となっている。FMみはらのスタジオで録音をしているわけではない。」

B 氏「ゲストにピアノで演奏した音源をプレゼントするという企画は新鮮だと思った。ただ、他の部分との音質の差を感じたのが気になった。」

第二号議案「要望について」

A 氏「今回の改編で担当パーソナリティの曜日が変わっているのはなぜか。」

事務局「朝の番組のパーソナリティが一人やめた。その分を他のパーソナリティがカバーするため担当曜日を変えた。」

事務局「前回の番組審議会でご紹介を頂いた鈴木三重吉賞を受賞した小学生にラジオに出て頂いた。生放送の中で受賞した詩の朗読を行ってもらったがとても感動した。今後もこのような形で児童、生徒が出演できる機会を作っていきたい。」